



令和7年度 杉戸町立杉戸第二小学校学力向上プロジェクト

学校教育目標 自ら考え 行動する子



自分の課題に向かって、深い学びをする子の育成
～学びに向かう力、学び続ける力を育む授業を通して～

子供たち一人一人が自ら学び、学び続ける力を身に付けるために…

★①単元の流れ、②単元を通して身に付ける力、③単元を通して働かせる「見方・考え方」、④「既知」を子供たちと共通理解のもと、学習をスタート★

- | | | |
|---------------------------|----------------------------|---------------------------|
| 【導入】 | 【展開】 | 【終末】 |
| ●本時の課題(共通)、学習内容、ルーブリックの確認 | ●自分に合った課題解決の方法を選択 | ●学んだことをアウトプット |
| ●必要に応じて個人の課題を設定 | ●課題解決する際、個別、協働等の学習形態を児童が選択 | ●何を学んだかを明確にするためのふりかえりとまとめ |

◎学び方スキルの習得 ※学年ごとにレベルアップ

学習課題→何の課題を解決するのか 自分の課題は何か 学習過程→どんな順序、時間配分、方法で解決していくのか 学習形態→誰と学ぶのか

◎指導事項(身に付ける力)の明確化・確実な指導及び、単元を通して子供たちが「見方・考え方」を働かせる授業を実施

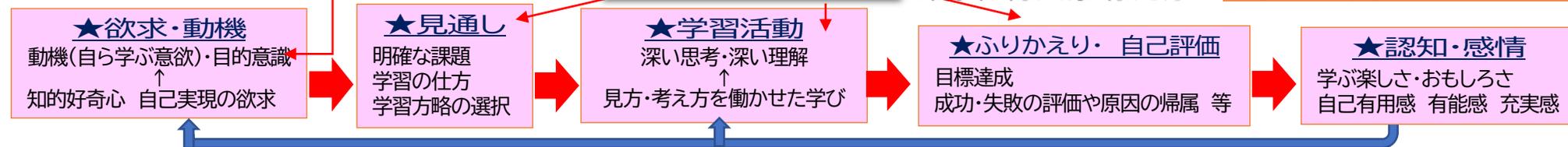
◎既習事項「既知」を子供たちが意識し、それを活かした学習を展開

◎「家庭学習の手引き」をもとに、家庭と協力した家庭学習の確実な実施・見届け

メタ認知

※高学年に向けて身に付ける力

学びに向かうサイクル



	低学年	中学年	高学年
学びに向かう力	学びに向かう姿勢(やるべきこと)の定着	自ら学ぶ姿勢の定着	自ら学びを求める姿勢の定着
話すこと・聞くこと	話	相手に伝わるように	
	聞	順序を考えて、声の大きさ・速さを工夫 聴き落とさない、集中して、感想をもつ	理由・事例を挙げて、中心を明確に、抑揚・強弱、間の取り方を工夫 中心を捉えて、自分の考えをもつ

学校生活(集団生活、社会)におけるきまりや約束などに基づいて、主体的に判断し行動しようとする規範意識

一人一人を大切にしたい、誰もが安心して学び合える学級(認め合い・思いやり・尊重)

学びの土台